

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内公立小中学校の児童生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	学校図書館の図書の新規購入・更新
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	図書購入冊数	冊	12,463	12,087	12,669	11,162
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,212	1,070	1,116	2,283
成果指標 1	蔵書率	%	87	91.9	90.4	95.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	19,062	18,242	18,292	17,723
正職員人件費 (B)		千円	3,104	3,068	3,080	3,088
総事業費 (A+B)		千円	22,166	21,310	21,372	20,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	図書及び書架の購入	図書購入費 小学校 10,129千円 中学校 5,311千円 書架購入費 小学校 1,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市教育研究会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	633	616	618	616
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	5,200	5,200	5,200
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等開催日数	日	186	182	184	183
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,200	5,200	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	5,976	5,967	5,970	5,972

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スキー授業を受ける小中学校児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	6,046	5,850	5,617	5,454
対象指標 2						
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	162	164	175	173
活動指標 2						
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	6,046	5,850	5,617	5,454
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	13,909	13,146	15,310	14,904
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	16,238	15,447	17,621	17,221

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	小中学校のスキー事業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。	小学校 10,758千円 中学校 4,146千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市教育研究所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
江別市の教育研究の進展と充実を図る	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	研修会等開催回数	回	3	3	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	研修会等参加者数	人	606	807	658	704
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,467	2,905	2,480	2,472
正職員人件費 (B)		千円	776	767	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	3,243	3,672	4,021	4,016

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供 教育相談、研修及び関係各機関との交流 教育研究所所報等の出版 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究所運営経費 1,970千円 教職員セミナー等研修会開催経費 182千円 家庭向けリーフレット作成経費 72千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援学級生活介助事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援学級を設置している小中学校に特別支援教育支援員を配置する。又、特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
一人ひとりの教育的ニーズに則した支援の実現を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	192	204	197	213
対象指標 2						
活動指標 1	特別支援教育支援員（特別支援学級）数	人	28	31	31	33
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	90	98	92	93
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.55	1.58	1.6	1.7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	48,678	45,356	50,044	51,816
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,068	3,081	3,089
総事業費 (A+B)		千円	51,784	48,424	53,125	54,905

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（特別支援学級）の配置 特別支援学級の運営等 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（特別支援学級）報酬：47,807千円 特別支援学級の運営経費（消耗品費）：2,640千円 障がい児教育に必要な器具等の購入費：432千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。 給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。 「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。 児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,726	8,571
対象指標 2						
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	205	204	205	204
活動指標 2						
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	44.6	39.8	50	50
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	235,938	239,405	236,064	243,078
正職員人件費 (B)		千円	121,895	120,419	120,937	123,552
総事業費 (A+B)		千円	357,833	359,824	357,001	366,630

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 調理場運営、維持管理費用 配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費 給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費 江別市学校給食会運営費への補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 配膳員等報酬 65,299千円 重油代 17,544千円 電気料 15,378千円 水道料 13,232千円 学校給食配送業務委託料 47,612千円 江別市学校給食会運営費補助金 20,993千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
遠距離通学が必要な児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	126	119	115	119
対象指標 2						
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	3,763	3,648	3,800	4,400
活動指標 2	利用児童生徒数	人	126	119	115	119
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	50,345	51,162	54,000	56,200
正職員人件費 (B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	54,227	54,997	57,852	60,061

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 14,800千円 ・中学校 41,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	平成30年3月31日をもって角山小学校が閉校することに伴い、平成30年4月からスクールタクシーを運行し、角山小学校校区から対雁小学校に通学する児童を送迎する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：学校施設整備事業（大規模改造）

総務課 施設係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校									
手段（事務事業の内容、やり方）									
建築後20年以上経過したもの、教育内容・方法に適合しないもの、消防法等の法令に適合しないものについて、改造を行う。 ・屋根、外壁、建具等の改修 ・教室等の間取りの変更 ・設備機器の更新、新設 など									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・経年変化による、損耗・機能低下を復旧する ・教育環境を改善する ・建物の耐久性を確保する ・各種法令に適合させる									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	27	26	26	25
対象指標 2						
活動指標 1	改修事業数	事業	0	1	0	2
活動指標 2						
成果指標 1	実施した事業数	事業	0	1	0	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	6,880	0	15,800
正職員人件費 (B)		千円	0	767	0	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	7,647	0	19,661

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	対雁小校舎煙突改修工事、大麻東中避難階段建替実施設計委託	対雁小校舎煙突改修工事 13,300千円 大麻東中避難階段建替実施設計委託 2,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,806	3,732	3,661	3,531
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	11,151	12,360	12,842	12,814
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	3,049	2,950	2,950	2,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	11,151	12,360	12,842	12,814
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	12,704	13,894	14,383	14,358

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	中文連、中体連の各種大会や発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会	中文連参加補助金 2,763千円 中体連参加補助金 10,051千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内在住の高校生	
手段（事務事業の内容、やり方）	
高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	3,865	3,850	4,135	4,116
対象指標 2						
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	9	11	13	12
活動指標 2						
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	9	9	13	12
成果指標 2	奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	1,263	1,728	2,365	2,149
正職員人件費 (B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	5,145	5,563	6,217	6,010

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	奨学資金の貸与	貸付金 1,992千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内小中学校児童生徒の保護者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	就学援助認定者数	人	2,070	1,865	1,842	1,762
活動指標 2						
成果指標 1	就学援助認定率	%	23	21.2	21.2	20.5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	196,613	181,856	189,831	189,000
正職員人件費 (B)		千円	9,316	9,204	9,244	9,266
総事業費 (A+B)		千円	205,929	191,060	199,075	198,266

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費 189,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育		戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に私立高校を設置する学校法人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色ある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	6	7	8	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,151	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	7,165	7,151	7,155	7,158

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内私立高校に対し助成金を支出	補助金 6,000千円 ・特色ある教育を実施するための事業への補助金 ・教材教具の整備事業への補助金 ・その他教育委員会が必要と認める事業への補助金

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域間交流・体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生、保護者 ・地域住民 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域・学校・家庭と連携を図りながら、地域間や異世代との交流による体験活動を、子どもたちに提供する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、地域・学校・家庭が連携することにより、教育力の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	実施事業数	事業	4	5	3	5
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	196	100	90	75
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	371	194	525	415
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	3,861
総事業費 (A+B)		千円	3,865	3,646	3,991	4,276

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	小学4年生～6年生を対象とした宿泊体験活動の実施 事前研修会の実施 事後研修会の実施 事業実施に向けた実行委員会の開催	宿泊体験活動協力団体謝礼 50千円 宿泊体験活動実施経費 180千円 実行委員会開催経費 35千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	参加者及び保護者、事業に携わる協力員を対象とした事前・事後研修を実施し、当日の体験活動をより効果的なものとする。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会事業への参加者数が増え、活動が活発化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	878	878	878	758
活動指標 2						
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	303	314	330	325
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	40	39	40	40
事業費 (A)		千円	878	878	878	758
正職員人件費 (B)		千円	2,717	2,685	2,696	2,703
総事業費 (A+B)		千円	3,595	3,563	3,574	3,461

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学生相撲大会の開催 青少年キャンプ村への協力 小中学生かるた大会の開催 ドッジビー体験会の開催 スノーフェスティバルへの協力 各地区育成会との連携と協力 ジュニアリーダー養成の支援 会議等の開催 活動団体の運営に対し補助金を支出 	子ども会への補助金 758千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各地区子ども会運営に対する補助金額 平成29年度：1地区18万円 平成30年度：1地区15万円 各地区子ども会と協議のうえ、子ども達への活動に影響がない範囲で適正金額を見直した。 		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助	

事務事業の目的と成果										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
成人のつどい実行委員会 新成人										
手段（事務事業の内容、やり方）										
<ul style="list-style-type: none"> ・新成人が大人になったことを自覚する場を提供するため、新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市成人のつどい実行委員会に対してアトラクション出演謝礼、交歓会景品など成人のつどい開催に要する経費について補助金を支出する。 										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
「成人のつどい」への参加を契機に、公民としての権利と義務を再認識し、自律ある社会人として自覚を促す。										

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	5	9	6	6
対象指標 2	新成人数	人	1,440	1,439	1,205	1,356
活動指標 1	補助金額	千円	220	220	220	220
活動指標 2						
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	952	935	840	909
成果指標 2	参加率	%	66.1	64.9	70	67
事業費 (A)		千円	486	500	505	502
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,815	2,801	2,816	2,819

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・成人対象者の抽出 ・案内葉書の作成・発送 ・しおり・封筒の作成 ・成人のつどい（式典・交歓会）の開催 ・実行委員会に対し補助金を支出 	<ul style="list-style-type: none"> 成人のつどいプログラム等印刷費 62千円 会場使用料 133千円 案内状発送料 87千円 実行委員会への補助 220千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 発明教室開設事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市少年少女発明クラブ									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員のもものづくり教室を開講する。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対し補助金を支出する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市少年少女発明クラブが開講する発明教室に子ども達が参加することにより、自らの手で作り上げることへの関心を高め、想像力を養うことと、集団活動や体験学習の経験を通して、豊かな創造性を身に付ける。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	581	606	581	581
活動指標 2	開催回数	回	30	32	24	24
成果指標 1	作品展等応募、出品数（市内、全道、全国）	件	45	35	40	40
成果指標 2	延べ活動人数	人	420	337	480	480
事業費 (A)		千円	581	606	581	581
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,134	2,140	2,122	2,898

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から1月：製作教室 ・夏冬の作品展 ・活動団体の事業に対し補助金を支出 	発明教室実施団体への補助 581千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	作品製作に使用する材料の収納場所の設置等を行い、より安全で機能的な教室環境を整備する。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止					
廃止 その他					

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市青少年のための市民会議
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動並びに有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき活動費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上するようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民会議の会員数（個人）	人	215	198	200	190
対象指標 2	市民会議の会員数（団体）	団体	58	58	58	57
活動指標 1	補助金額	千円	129	129	129	129
活動指標 2						
成果指標 1	主催事業協力者数	人	100	91	85	91
成果指標 2	非行防止標語応募件数	件	2,219	2,258	2,300	2,612
事業費 (A)		千円	129	129	129	129
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,458	2,430	2,440	2,446

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成啓発などの標語募集 ・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・青少年善行賞の選定、表彰 ・街頭啓発の実施 ・会議等の開催 ・市民会議に対し補助金を支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会議への補助 129千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開設する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流、及び集団生活を通して規律のある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性、社会性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童および生徒数	人	6,720	6,113	5,848	5,753
対象指標2						
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	参加グループ数	グループ	115	95	125	125
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	678	548	700	700
事業費 (A)		千円	596	717	818	782
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	4,633
総事業費 (A+B)		千円	4,090	4,169	4,284	5,415

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	8月上旬に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開設する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。	生活指導員謝礼 336千円 バス借上げ料 376千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	本事業は、平成30年度で50周年を迎えるため、周年記念イベントの開催及び市内小中学校への周知方法を工夫し、参加人数を確保する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
小学生以上24歳以下の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
各種コンクール等において優秀な成績をおさめるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
創造性豊かな芸術、文化に対する意識を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	21,073	20,641	20,641	20,273
対象指標 2						
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	受賞者数	人	22	23	14	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	373	365	209	209
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,149	1,132	979	981

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・教育機関、文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴やコンクールの内容等を精査し庁議において審議の上、表彰者を決定する。	・盾代 209千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	449	450	440	440
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	17	17
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	48	43	48	43
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,598	5,041	5,406	5,212
正職員人件費 (B)		千円	5,823	5,753	5,777	5,792
総事業費 (A+B)		千円	10,421	10,794	11,183	11,004

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 巡回街頭指導の実施 祭典巡回指導の実施 江別市指導連絡会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 専任指導員等報酬：4,815千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
・児童生徒、保護者及び教育関係者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の専用窓口を開設し、専任指導員が教育相談に対応する。 ・青年センターにスクールカウンセラーを配置し、カウンセリングにあたる。 ・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア事業（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施する。 ・いじめ問題について、児童生徒が直接市教委へ訴える心のダイレクトメール事業を実施する。 ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。 ・ネットパトロール・情報モラル普及啓発資料を配布する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめが解消される。 ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	90	108	90	108
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	40	37	40	40
活動指標 2	すぼっとケア・ケア事業開催回数	回	70	114	117	117
成果指標 1	いじめの解消率	%	100	100	100	100
成果指標 2	再登校率	%	21	32	21	32
事業費 (A)		千円	3,646	5,881	5,903	5,543
正職員人件費 (B)		千円	7,376	7,287	7,318	7,336
総事業費 (A+B)		千円	11,022	13,168	13,221	12,879

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校電話相談窓口開設 ・カウンセラーによる教育相談を実施 ・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア事業及びケア事業を実施 ・心のダイレクトメール事業を実施 ・中学生サミットの開催 ・ネットトラブル対策・啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 専任指導員等報酬 : 4,176千円 心のダイレクトメール事業経費 : 40千円 中学生サミット開催経費 : 267千円 ネットパトロール経費 : 389千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	ネットパトロールの実施回数を見直す。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	・児童、保護者及び教育関係者
手段（事務事業の内容、やり方）	・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	相談員配置学校数	校	19	18	18	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,322	5,195	5,322	5,195
成果指標 1	延べ相談件数	件	15,246	15,120	15,246	15,120
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,558	5,381	5,655	5,650
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	7,111	6,915	7,196	7,194

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応	・心の教室相談員報酬：5,570千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	低下			

事業名： ヤング・子育て相談事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
専門員（カウンセラー資格取得者）による相談業務及び青少年の健全な育成を目的とする家庭教育の推進等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
相談することによる悩み・不安の軽減、解消。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	すぼっとケア派遣日数（平成29年度から）	日	241	245	232	242
活動指標 2	相談員数	人	9	10	10	15
成果指標 1	すぼっとケア相談延べ人数（派遣相談者受付分）	件	6	7	163	263
成果指標 2	子育て・ヤングテレホン相談件数（平成28年度まで）	件	126	140	0	0
事業費 (A)		千円	895	884	940	933
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,931
総事業費 (A+B)		千円	2,448	2,418	2,481	2,864

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市適応指導教室「すぼっとケア」への専任相談員派遣 家庭教育ナビゲーターの養成 家庭教育への支援	すぼっとケア派遣における謝礼 726千円 相談員スキル向上を目的とした研修旅費 42千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	専任相談員の派遣は、すぼっとケアに通級する児童生徒への対応向上に寄与しており、教室開催日数の増加に併せて派遣日数も増加を検討する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内市立小・中学校
手段（事務事業の内容、やり方）	「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	27	26	26	25
対象指標 2						
活動指標 1	事業実践項目数	項目	39	39	39	38
活動指標 2						
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	5,746	6,907	5,300	6,200
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,021	3,123	3,394	3,394
正職員人件費 (B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	4,962	5,041	5,320	5,325

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出。	<ul style="list-style-type: none"> 講師の謝礼等 632千円 消耗品購入費 2,212千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
・児童生徒、保護者及び教育関係者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	配置学校数	校	9	9	9	9
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,008	1,059	1,008	1,059
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,092	1,176	1,092	1,176
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	81	81	81	63
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	1,634	1,615	1,622	1,607

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・中学校8校、小学校1校にスクールカウンセラーを配置し相談業務にあたる	・配置校消耗品費：63千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内小中学校の児童生徒
手段（事務事業の内容、やり方）	教育活動の講師として、文化・芸術など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を活用するための費用を負担する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	社会人を活用した教育活動を実施する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	14	12	26	25
活動指標 2						
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	14	12	26	25
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	493	458	600	585
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,269	1,225	1,370	1,357

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を教育活動の講師として活用するための支援を行う。	報償費 585千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援教育推進事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育				戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実				プロジェクト					
					プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金		

事務事業の目的と成果										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒										
手段（事務事業の内容、やり方）										
支援員（特別支援教育支援員（通常学級）外）の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言、研修会の開催による教員や支援員の能力向上及び保護者の理解啓発、その他環境整備等を通じて、支援を行なう										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
教員が児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて長期目標・短期目標を盛り込んだ個別の教育計画に沿って、適切な教育を行うことにより、対象児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服する										

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	375	449	456	506
対象指標 2						
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	123	141	147	147
活動指標 2	特別支援教育支援員（通常学級）の配置数	人	23	26	31	32
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	57.7	50	70	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	30,013	31,611	49,983	39,393
正職員人件費 (B)		千円	7,376	7,287	7,318	7,336
総事業費 (A+B)		千円	37,389	38,898	57,301	46,729

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（通常学級）の配置 特別支援教育専門家チームの経費 特別支援教育に係る設備整備 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（通常学級）等の報酬：34,270千円 特別支援教育専門家チーム委員等の謝礼：608千円 設備整備工事：3,680千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立中学校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
連続3日間、生徒が事業所において職場体験する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
自己の進路や職業観を養う。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内公立中学校の生徒数	人	3,244	3,183	3,107	2,971
対象指標2						
活動指標1	職場体験受け入れ事業所数	所	124	111	120	120
活動指標2						
成果指標1	原則連続3日間のキャリア教育参加生徒数	人	946	848	838	859
成果指標2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	79	77	70	70
事業費 (A)		千円	578	444	679	776
正職員人件費 (B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	4,460	4,279	4,531	4,637

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	公立中学校の生徒が事業所において連続する3日間の職場体験を行う。	・ マナー研修等経費 176千円 ・ 職場体験実施に係る経費 600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,726	8,571
対象指標 2						
活動指標 1	食器更新・追加数	個	3,600	1,400	4,200	18,500
活動指標 2	検討委員会開催数	回	0	1	5	1
成果指標 1	食器破損率	%	6.02	6.15	6	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	388	384	1,541	1,158
総事業費 (A+B)		千円	388	384	1,541	1,158

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。 平成31年度から使用を開始する箸を調達する。	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいてつづくり				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外での学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校における、多様な学習機会を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標2						
活動指標1	学習サポート教員の登録人数	人	43	38	38	38
活動指標2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	72	73	73	60
成果指標1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,732	3,627	3,665	3,470
成果指標2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	311	384	345	371
事業費 (A)		千円	9,237	9,243	9,329	8,939
正職員人件費 (B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	13,119	13,078	13,181	12,800

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。 一校あたり学習サポート教員を平均139回、学校支援ボランティアを平均15回派遣する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習サポート教員派遣経費 6,967千円 コーディネーター報酬等 1,972千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：子どものための読書環境整備事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の子どもとボランティア									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	27	26	26	25
対象指標 2						
活動指標 1	司書巡回学校数	校	9	9	9	15
活動指標 2						
成果指標 1	司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	5,287	2,406	5,000	2,500
成果指標 2	司書巡回期間のボランティア活動回数	回	20	7	20	20
事業費 (A)		千円	5,464	5,571	5,572	5,958
正職員人件費 (B)		千円	2,717	4,602	4,622	4,633
総事業費 (A+B)		千円	8,181	10,173	10,194	10,591

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・司書による学習支援 ・司書による学校図書館の環境整備への支援 ・司書と学校図書館ボランティアとの協働 ・「江別市子どもの読書活動推進計画」の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員報酬（巡回司書3人、支援司書1人）5,504千円 ・団体貸出用図書、朝読書、調べ学習用図書購入費100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の小中学校児童生徒等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,726	8,571
対象指標 2						
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	311	306	330	330
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	88.3	85.3	85	85
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	385	1,544
総事業費 (A+B)		千円	1,553	1,534	385	1,544

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいてつづくり				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
体力向上に係る実践研究を行っている北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、教授と学生が学校を訪問のうえ、朝の時間を利用して「朝運動プログラム」を実施する。また、モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、朝運動プログラムの普及出前授業（年3校予定）を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
体を動かすことを楽しいと感じてもらおうとともに、児童生徒の体力向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2	モデル校の児童数	人	155	150	158	177
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数（モデル校及び普及出前授業実施校）	回	39	39	37	39
活動指標 2	「朝運動プログラム」を実践した児童数	人	97	323	85	227
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	83	83	80	83
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	94	96	95	98
事業費 (A)		千円	635	635	679	653
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,964	2,936	2,990	2,970

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取組を行い、その効果と検証を行う。 ・江別市体力向上「朝運動プログラム」事業普及のための出前講座を市内小学校（3校予定）にて行う。 	北翔大学への委託料 653千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：特別支援教育就学奨励費

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
特別支援教育就学奨励費が必要な保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。 ※平成28年度から特別支援学級通学付添費事業を当事業に統合									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
経済的な理由で児童生徒の就学に必要な経費を捻出することが困難な保護者を助成することにより、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室等に通学する児童生徒の保護者	人	293	302	295	310
対象指標2						
活動指標1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	175	174	258	178
活動指標2	通学費認定者数（平成28年度から）	人	0	123	224	144
成果指標1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	59.7	57.6	87	57
成果指標2	通学費認定率（平成28年度から）	%	0	40.7	76	46
事業費(A)		千円	4,085	4,889	6,923	6,887
正職員人件費(B)		千円	2,330	3,068	3,082	3,088
総事業費(A+B)		千円	6,415	7,957	10,005	9,975

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき、市支出の2分の1が補助される。	・通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等 小学校：4,080千円 中学校：2,807千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・児童生徒、保護者及び教育関係者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ ・学校や関係機関との連携や調整 ・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・児童生徒、保護者の抱える問題が解決される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	2	2	2	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,320	845	1,320	1,320
成果指標 1	支援ケース件数	件	103	104	103	125
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,455	4,460	4,508	6,868
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	6,008	5,994	6,049	8,412

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	・スクールソーシャルワーカーが、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、問題を抱える児童に対して相談支援を行う	スクールソーシャルワーカー報酬：6,686千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	スクールソーシャルワーカーを1名増員する（3名体制）。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市中学校文化連盟（中文連） 江別市中学校体育連盟（中体連）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,806	3,732	3,661	3,531
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,408	1,381	1,355	1,307
活動指標 2						
成果指標 1	中文連・中体連大会開催数	回	17	17	17	17
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,408	1,381	1,355	1,307
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	2,184	2,148	2,125	2,079

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	市内中学校文化連盟負担金 353千円 市内中学校体育連盟負担金 954千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	低下			

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト	A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり				
				プログラム	① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内公立小・中学校の児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	0	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	0	5,607	5,000	6,200
活動指標 2						
成果指標 1	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	%	0	61	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	27,944	28,064	34,754
正職員人件費 (B)		千円	0	6,903	6,933	6,950
総事業費 (A+B)		千円	0	34,847	34,997	41,704

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の授業において、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施 	外国語指導助手報酬 33,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	新学習指導要領にて小学校外国語教育が早期化・教科化となることを見据え、平成30年度からの先行実施、平成32年度からの完全実施に円滑に対応するため、外国語指導助手を2名増員する。	減少	維持	増加	
維持					
見直し		向上			○
新規		維持			
休止		低下			
廃止					
その他					

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内市立小・中学校	
手段（事務事業の内容、やり方）	
全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
学校・地域・家庭が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	0	0	26	25
対象指標 2						
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	0	0	26	25
活動指標 2						
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	0	0	52	50
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	2,957	1,911
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	0	6,809	5,772

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	学校運営委員会を運営するための経費	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営委員会員報酬 1,080千円 市外研修旅費 81千円 広報活動費等諸経費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：北海道中学校水泳大会補助金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	全道中学校水泳大会事務局
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、全道中学校水泳大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	中学校体育活動の振興を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	事務局数	箇所	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	150
活動指標 2						
成果指標 1	大会参加者数	人	0	0	0	600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	150
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	772
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	922

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	中学校水泳の全道大会が当市で開催されるにあたり、その運営に係る経費を補助する。 ・開催期間 平成30年7月27日～29日（予定） ・開催場所 野幌総合運動公園	全道中学校水泳大会事務局への補助金 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	中学生の体育活動の振興を図るため、全道市町村が持ち回りで中体連水泳大会を実施する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公民館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、地域に密着した社会教育の中心施設となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	90,935	89,424	89,466	90,501
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	227,344	226,259	220,000	220,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	92,683	91,823	92,106	93,001
正職員人件費 (B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	94,624	93,741	94,032	94,932

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設及び物品の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 90,501千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
情報図書館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
情報図書館の運営管理に要する経費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。 ・施設が適切に運営管理される。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2	施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	1	2	2	2
活動指標 1	年間開館日数（全館）	日	292	292	284	292
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	66,885	69,582	72,775	72,857
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	203,293	193,314	200,000	200,000
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	824,546	793,571	800,000	800,000
事業費 (A)		千円	66,885	69,582	72,775	72,857
正職員人件費 (B)		千円	31,056	30,680	30,812	30,888
総事業費 (A+B)		千円	97,941	100,262	103,587	103,745

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・江別市情報図書館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤・臨時職員人件費 43,694千円 ・燃料費・光熱水費 9,733千円 ・清掃等施設管理委託料 16,222千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び市内に通勤・通学している人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。 ・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。 ・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	資料購入冊数	冊	9,628	10,762	10,600	10,600
活動指標 2						
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	6.9	6.7	6.7	6.7
成果指標 2	予約及びリクエスト件数	件	102,548	97,239	103,000	98,000
事業費 (A)		千円	20,999	22,147	22,150	22,000
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	24,493	25,599	25,616	25,475

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費 4,000千円 図書資料購入費 18,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
旧町村農場	
手段（事務事業の内容、やり方）	
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	6,931	7,486	7,486	7,486
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	11,784	6,973	11,600	8,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	7,426	7,596	7,927	7,815
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	8,979	9,130	9,468	9,359

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 7,486千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：体験・ボランティア活動支援センター運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市体験活動・ボランティア活動支援センター
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市体験活動・ボランティア活動支援センター会議を開催し、体験活動事業を企画する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	地域・学校・家庭と連携し、地域教育力の向上を図る活動を行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	コーディネーター数	人	10	10	10	10
対象指標 2						
活動指標 1	センター会議開催回数	回	9	8	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	コーディネーター活動延回数	回	61	64	100	50
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	114	51	219	178
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,151	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	1,279	1,202	1,374	1,336

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動・ボランティア活動支援センター会議の開催 地域と家庭が連携した体験活動の企画 体験活動に必要な専門指導員との連携 	活動支援センターコーディネーター謝礼等 178千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	組織のあり方を整理し、今後の活動の方向付けが必要。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
20歳以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・初心者パソコン教室等の開催 ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	20歳以上の市民	人	99,530	99,419	99,419	99,412
対象指標 2						
活動指標 1	各種パソコン講習会開催数	回	35	27	38	36
活動指標 2	インターネット体験の実施日数	日	47	46	48	48
成果指標 1	各種パソコン教室受講者数	人	241	173	240	230
成果指標 2	コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	2,850	2,226	2,850	2,800
事業費 (A)		千円	321	307	387	380
正職員人件費 (B)		千円	3,882	4,219	4,237	4,247
総事業費 (A+B)		千円	4,203	4,526	4,624	4,627

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	初心者PC教室 23回 EPOC講習会 12回 初めてのパソコン講習会 1回	パソコンボランティア謝礼 74千円 エポック講習会講師派遣委託料 60千円 コンテンツフィルタリング保守費用 137千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	展示会を開催することにより、図書館への関心が高まり、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	展示会開催数	回	3	3	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	展示室入場者数	人	2,079	2,497	2,100	2,100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	123	135	150	145
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	1,676	2,436	2,461	2,462

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	展示会の開催 「星のおはなし展」「えべつ土曜広場作品展」「土佐市姉妹都市提携40周年記念展」「しかけ絵本と大型絵本展」	・展示会資料借受謝礼 45千円 ・展示会用消耗品費 100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持						
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名： 蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
65歳以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。 5～3月に毎月1、2回学習会開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民の数	人	32,640	33,675	33,675	34,645
対象指標 2						
活動指標 1	講座開催数	回	61	61	62	61
活動指標 2						
成果指標 1	学生数	人	144	125	144	144
成果指標 2	出席率	%	88	86	80	80
事業費 (A)		千円	638	597	688	667
正職員人件費 (B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	2,579	2,515	2,614	2,598

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、 午後は選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、園芸、 ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	・ 蒼樹大学開催に係る費用 667千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
学校、社会教育関係団体等および市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出しする。 ・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出しする。 ・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、図書館ウェブサイトなどにより周知を図る。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。 ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	19	19	19	19
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,213	2,186	2,171	2,100
成果指標 1	利用者数	人	2,766	2,974	3,000	3,000
成果指標 2	貸出件数	回	2,615	2,864	2,900	2,900
事業費 (A)		千円	799	678	713	608
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	3,128	2,979	3,024	2,925

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出 ・個人への教材の貸出 ・教材用DVDの購入 ・ビデオ上映会の実施 	貸出用教材購入費用 500千円 貸出用機器購入費用 13千円 著作権（上映権）使用料 65千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。 ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	図書館主催おはなし会など開催回数	回	337	343	340	344
活動指標 2						
成果指標 1	読書普及事業の参加人数	人	4,396	4,335	4,400	4,400
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	429	439	490	473
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	1,982	2,740	2,801	2,790

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	本館及び分館でのおはなし会などの開催	おはなし会講師謝礼 396千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略						
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
社会教育の振興・発展を目的とし、児童・生徒の健全育成と幅広い世代間交流を目指す市内の団体及び地域団体等。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	地域交流活動補助対象事業数	団体	13	11	31	31
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	400	365	900	800
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	4,953	3,069	10,000	10,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	400	365	900	800
正職員人件費 (B)		千円	388	384	770	772
総事業費 (A+B)		千円	788	749	1,670	1,572

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進を目的とする市内の団体などが、学校や地域と連携して自主的に企画・運営する青少年健全育成事業及び青少年音楽振興事業等に対し「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業実施団体への補助金 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高校生以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学（札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学、酪農学園大学）との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。 市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座と連携し、市主催の講座を含めて「えべつ市民カレッジ」として位置付け総合的に学ぶ機会を提供する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくるとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	高校生以上の市民	人	105,175	104,635	104,635	104,414
対象指標2						
活動指標1	連携団体数	団体	4	5	6	6
活動指標2						
成果指標1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	105	120	110	160
成果指標2						
事業費(A)		千円	336	1,458	1,340	201
正職員人件費(B)		千円	2,717	2,685	2,696	2,703
総事業費(A+B)		千円	3,053	4,143	4,036	2,904

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。 ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。 受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと江別塾開催に係る経費 148千円 えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 53千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	市民カレッジ自治会回覧チラシ作成に係る費用を低減させるため、印刷業者への発注から内部印刷に切り替える。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
コミュニティセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	16,856	16,550	16,537	16,594
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	153,138	130,700	150,000	130,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	16,856	16,550	16,537	16,594
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,151	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	18,021	17,701	17,692	17,752

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 指定管理協定の締結	・ 指定管理料 16,594千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	4	4	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	円	2,538	2,538	2,538	2,638
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	2,705	2,663	2,800	2,900
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,538	2,538	2,538	2,638
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,453	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	6,032	5,991	6,004	6,113

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付	<ul style="list-style-type: none"> 江別市女性団体協議会への補助金 400千円 江別市PTA連合会への補助金 468千円 江別市聚楽学園への補助金 770千円 江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
向上				
維持			○	
低下				
改革方向性（成果）				

事業名：家庭教育事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2		補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	小中学生の保護者、一般市民
手段（事務事業の内容、やり方）	家庭における教育力の向上につながる、学習機会を提供する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	小中学生の保護者が、電子メディア機器の危険性や情報モラルについて学ぶことで、時代のニーズに応じた家庭の教育力向上を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	0	0	7,356	7,262
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催数	回	0	0	5	1
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	0	0	200	120
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	462	85
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,003	1,629

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	小中学生の保護者に対し、講演会を開催	・講演会講師料 40千円 ・小中学校向けチラシの作成 45千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	昨年実施した親子体験活動は民間でも多く行われているため、継続的に取り組んできた「情報モラル」講演会に力を入れる。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止 廃止 その他			○	

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス工芸館 ・ガラス工芸家 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営 ・ガラス工芸家の創作活動公開への対応 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、創作工芸の分野における文化の振興に資する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	㎡	242.72	242.72	242.72	242.72
活動指標 1	開館日数	日	61	61	61	58
活動指標 2						
成果指標 1	来館者数	人	1,469	1,743	1,600	1,600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,590	2,495	2,481	2,481
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	3,366	3,262	3,251	3,253

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	ガラス工芸館の管理運営	管理運営費 2,481千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・「れんがとやきもののまち・江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の企画展を開催し、市民に芸術・文化の鑑賞の場を提供する。 ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を頒布し、周知する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民（来館者）に観覧してもらうことで、「れんがとやきもののまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。 									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民		人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2							
活動指標 1	企画展開催数		回	3	3	2	4
活動指標 2							
成果指標 1	企画展入場者数		人	2,317	2,024	1,200	4,000
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	2,003	4,546	483	4,107
正職員人件費 (B)			千円	5,823	5,753	5,777	11,583
総事業費 (A+B)			千円	7,826	10,299	6,260	15,690

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・東京国立近代美術館工芸館名品展ほか計4回の企画展を開催。	・東京国立近代美術館工芸館名品展の開催経費3,381千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	前年度の企画展開催計画に基づき、地元江別や道内外の優れた陶芸作品及び芸術作品等の企画展を開催する。合わせて、31年度以降の企画展開催準備を進める。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：セラミックアートセンター管理運営経費 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
セラミックアートセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。 ・小森忍および道内作家、れんが資料の収集、展示。 ・陶芸を中心とした展覧会の開催、各種陶芸教室・講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸し出し。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・快適かつ安全に利用してもらう。 ・多くの市民に利用してもらうことで、「れんがとやきもののみち・江別」のイメージの共有を図る。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開館日数	日	304	301	300	303
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	38,407	39,134	39,543	39,417
成果指標 1	利用者数	人	24,171	26,176	20,000	24,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	38,407	39,134	39,543	39,417
正職員人件費 (B)		千円	6,211	6,136	6,162	6,950
総事業費 (A+B)		千円	44,618	45,270	45,705	46,367

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンターの維持管理 ・小森忍および道内作家、れんが資料の収集・展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員報酬 3,598千円 ・暖房用重油等燃料費 2,945千円 ・電気代等光熱水費 5,523千円 ・維持管理関係委託料 24,354千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	13	13	13	14
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						
成果指標 1	開催学校数	校	17	17	18	17
成果指標 2	参加者数	人	751	807	814	790
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	2,841	2,818	2,826	2,831

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが土曜日をより良く過ごせるよう、地域の専門的な指導者及び運営に係るボランティアの協力によって、市内各小学校の施設を活用し、普段学校で学ぶことの少ない日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する。 市内各小学校17か所、月2回土曜日午前中（10回程度／1校） 活動種目 囲碁・茶道・手芸・百人一首など25種類程度 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民文化ホール									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	50,400	50,347	50,388	50,560
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	50,226	64,897	58,000	58,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	50,700	50,346	50,988	50,660
正職員人件費 (B)		千円	1,165	1,151	1,155	1,158
総事業費 (A+B)		千円	51,865	51,497	52,143	51,818

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設及び物品の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 50,560千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
NPO法人江別市文化協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	2,370	2,010	2,364	1,989
対象指標 2	加盟団体数	団体	119	115	114	114
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2						
成果指標 1	主催・支援事業数	件	21	26	25	28
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,126	1,117	1,120	1,122

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	対象事業 ①えべつ未来コミュニティ事業、②文化活動発信事業、③会員交流事業、④会員拡大・研修・活動促進、⑤文化振興調査研究事業、⑥顕彰事業	・補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	活動を行う個人や団体が奨励金の支給を受け、さらなる意欲の向上が図られる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	3	4	4	4
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	1	3	2	2
成果指標 1	入賞個人数	人	0	2	4	4
成果指標 2	入賞団体数	団体	0	1	2	2
事業費 (A)		千円	130	340	240	240
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	518	724	625	626

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 個人：10,000円以内、市内に在住していること（就学以前の者を除く）。 団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）、本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること（就学以前の者を除く）。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等出場奨励金 240千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別音楽協会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別音楽協会
手段（事務事業の内容、やり方）	江別音楽協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図り、市民の音楽文化に対する関心を高める。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	構成人員数	人	400	510	550	500
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,376	1,383	2,984	1,087
成果指標 2	事業への来場者数	人	2,168	2,313	1,769	2,100
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	1,288	1,284	1,285	1,286

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・「夏の演奏会」「冬の演奏会」「アンサンブルコンテスト」の開催	・補助金 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持			維持	○		
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	芸術文化の振興を目的とする市民組織
手段（事務事業の内容、やり方）	各実行委員会に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	2	2	2	2
対象指標 2	構成委員数	人	18	18	41	17
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,600	1,000	900
活動指標 2						
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	831	1,634	1,300	700
成果指標 2	開催事業数	回	3	3	3	3
事業費 (A)		千円	1,000	1,600	1,000	900
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,452	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	4,106	5,052	4,466	4,375

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	各実行委員会が行う次の3部門の市民創造型芸術文化事業とする。 ・舞台部門（市民ミュージカル公演～3年に1回：次回H31） ・音楽部門（まちかどコンサート年2回） ・展示部門（市民美術展受賞作品展～5年に1回：次回H34）	・市民ミュージカル開催準備 400千円 ・まちかどコンサート 500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持						
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：北海道林木育種場旧庁舎維持管理経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	北海道林木育種場旧庁舎
手段（事務事業の内容、やり方）	（公社）シルバー人材センターに管理を委託し、施設利用者の把握、清掃などを行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	適正に維持管理される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	敷地面積	㎡	5,053.53	5,053.53	5,053.53	5,053.53
対象指標 2	延床面積	㎡	1,388.09	1,388.09	1,388.09	1,388.09
活動指標 1	開館日数	日	117	116	116	115
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	759	690	620	620
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,773	1,945	2,182	2,168
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	2,161	2,329	2,567	2,554

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	北海道林木育種場旧庁舎の管理運営	維持管理経費 2,168千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市野幌太々神楽伝承会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市民団体として、市民への公演会や保存団体への支援を行う太々神楽の保存伝承活動に対し助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	構成員数	人	22	18	20	18
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	31	27	31	31
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	776	767	385	386
総事業費 (A+B)		千円	1,076	1,067	685	686

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し、助成する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市指定文化財保持団体の保存伝承活動を助成し、永く無形民俗文化財の保存に努める。 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、指定文化財保護保存のため補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
指定文化財を適切に保護、保存する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	構成員数	人	180	180	180	170
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	31	26	31	23
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	776	767	385	386
総事業費 (A+B)		千円	926	917	535	536

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し助成する。	野幌太々神楽保存会への補助 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：陶芸文化普及振興事業

セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。 ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	展示事業数	回	6	5	4	3
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	28	34	26	27
成果指標 1	展示事業入場者数	人	4,556	5,661	4,500	5,000
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	5,511	5,896	5,000	5,000
事業費 (A)		千円	7,591	7,421	7,651	7,005
正職員人件費 (B)		千円	5,823	5,753	5,777	6,178
総事業費 (A+B)		千円	13,414	13,174	13,428	13,183

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「北の生活デザイン展」ほか計3回の展示会を実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸指導員報酬 5,300千円 ・展示会開催経費 451千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	NPO法人江別市文化協会
手段（事務事業の内容、やり方）	NPO法人江別市文化協会に補助金を交付する。 ◎江別市教育振興事業補助金交付規則
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民文化祭を開催することにより、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	文化協会構成団体数	団体	119	115	114	114
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数（出演者＋来場者）	人	18,744	17,613	19,245	18,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費 (B)		千円	1,941	1,918	1,926	1,931
総事業費 (A+B)		千円	4,341	4,318	4,326	4,331

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市民芸術文化活動の活性化を図るため、開催事業経費から事業収入を控除した額を補助する。 1. 部門別事業 ①舞台部門（大正琴フェスティバルほか計9事業） ②展示部門（市民美術展ほか計6事業） ③文芸部門（文化講演会ほか計4事業） ④生活文化部門（将棋大会ほか計2事業） 2. 総合芸術フェスティバル	・補助金 2,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体
手段（事務事業の内容、やり方）	芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体及びこれらの団体で構成する実行委員会等を対象に補助金を交付する。 ◎江別市芸術文化奨励補助金交付要綱
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。 ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,850	1,850	1,850	1,850
活動指標 2						
成果指標 1	鑑賞者数	人	1,939	2,308	1,742	2,300
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,850	1,850	1,850	1,850
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	2,626	2,617	2,620	2,622

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・プロの団体、個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演 1,200千円 ・演芸関係公演 650千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
埋蔵文化財包蔵地（遺跡）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び詳細分布調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
埋蔵文化財を適切に保護、保存する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2						
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	3	3	3	3
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	0	0	1	1
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	3	3	4	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	20	11,115	9,525
正職員人件費 (B)		千円	5,047	5,369	10,014	10,039
総事業費 (A+B)		千円	5,047	5,389	21,129	19,564

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、記録保存のための発掘調査を実施する。 埋蔵文化財包蔵地の管理・公開や確認調査等を実施する。	発掘調査に伴う費用 作業員賃金 4,241千円 委託料 3,229千円 確認調査等に伴う費用 委託料他 352千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
1. 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。 2. 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。 3. 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	企画展開催数	回	2	2	2	2
活動指標 2	展示資料点数	点	141	206	100	100
成果指標 1	企画展入場者数	人	2,464	1,832	1,500	1,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	130	68	176	120
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	2,459	2,369	1,717	1,664

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	郷土資料館ロビーにて、企画展を開催し、市民の寄贈資料や発掘調査で得た考古資料等を公開することで、江別の歴史や文化に対する関心を深めてもらう。	展示に伴う経費 120千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土史を学ぶために各種講座を開催する。 ・子ども学芸員カレッジ（小学生） ・再発見・江別探訪（一般） ・縄文土器を作ろう！（小学生） ・ふるさと歴史講座（一般） ・総合的な学習支援事業（小中学生） ・歴史を学ぼう（小中学生・一般）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	事業開催回数	回	34	33	35	32
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	1,057	1,207	1,000	1,200
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	261	267	302	263
正職員人件費 (B)		千円	4,270	4,219	4,237	4,247
総事業費 (A+B)		千円	4,531	4,486	4,539	4,510

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども学芸員カレッジ：小学生向け 縄文土器を作ろう！：小学生向け 再発見・江別探訪：一般向け（史跡等の見学） ふるさと歴史講座：一般向け（江別の歴史・文化） 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども学芸員カレッジ開催経費 125千円 縄文土器を作ろう！開催経費 39千円 再発見・江別探訪開催経費 68千円 ふるさと歴史講座開催経費 24千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 屯田資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
屯田資料館 野幌屯田兵屋									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に要する経費。 ・ 道指定有形文化財「野幌屯田兵第二中隊本部」（屯田資料館）の管理と公開。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、江別に礎を築いた屯田兵に対する理解が深まる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	屯田資料館開館日数	日	68	67	62	61
活動指標 2	屯田兵屋開館日数	日	9	9	5	5
成果指標 1	屯田資料館来館者数	人	494	541	550	550
成果指標 2	屯田兵屋来館者数	人	219	187	200	200
事業費 (A)		千円	2,175	2,190	2,247	2,190
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	3,728	3,724	3,788	3,734

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
30年度	屯田資料館・野幌屯田兵屋の維持管理及び運営	・ 施設・管理職員報酬 582千円	・ 保守管理委託経費 1,487千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		向上	○	
見直し				
新規				
休止		低下		
廃止				
その他				

事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
郷土資料館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
郷土資料館の維持管理に要する経費。 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営 ・郷土資料の収集・保存 ・郷土資料の調査研究									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・市民に江別の歴史を理解してもらう。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開館日数	日	304	301	300	303
活動指標 2						
成果指標 1	来館者数	人	3,992	3,300	3,300	4,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	17,264	12,453	13,041	14,180
正職員人件費 (B)		千円	5,046	4,986	5,007	5,019
総事業費 (A+B)		千円	22,310	17,439	18,048	19,199

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	郷土資料館の維持管理及び運営	・解説・管理職員等報酬 6,610千円 ・重油代等燃料費 565千円 ・電気代等光熱水費 1,224千円 ・保守管理委託経費 4,247千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：学校プール開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,960	8,811	8,183	8,112
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	15	15	15	15
活動指標2	開放日数	日	14	14	14	14
成果指標1	利用者数	人	11,102	9,924	10,000	10,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,317	3,407	3,637	3,697
正職員人件費(B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費(A+B)		千円	5,646	5,708	5,948	6,014

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬 3,070千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（パドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・学校週5日制により生じた休日の子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。 ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	実施校区の児童・生徒数	人	6,086	5,628	5,922	5,771
対象指標2						
活動指標1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標2	開放日数	日	190	176	220	200
成果指標1	利用者数	人	3,750	3,279	3,000	3,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,267	1,092	1,351	1,268
正職員人件費(B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費(A+B)		千円	2,820	2,626	2,892	2,812

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺の児童、生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼 1,118千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：屋外体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
はやぶさ運動広場、屋外スケートリンク									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・はやぶさ運動広場の利用受付、維持管理や軽易な補修整備を行う。 ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。 ・両施設とも業務委託で行う。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	はやぶさ運動広場開放日数	日	184	184	190	190
活動指標 2	屋外スケートリンク開場日数	日	29	29	25	25
成果指標 1	はやぶさ運動広場利用者数	人	23,261	28,220	20,000	21,000
成果指標 2	屋外スケートリンク利用者数	人	17,591	11,860	14,000	14,000
事業費 (A)		千円	5,628	5,734	6,132	6,132
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	6,404	6,501	6,902	6,904

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	施設の管理運営、スケートリンク造成を業務委託により実施する。	委託料 6,132千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ少年団補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市スポーツ少年団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを行う青少年を増やす。 ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	登録団数	団	41	41	43	43
対象指標 2	登録団員数	人	1,069	1,051	1,071	1,075
活動指標 1	補助金額	千円	1,930	1,940	2,007	1,992
活動指標 2						
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	11.9	11.9	12.3	12.5
成果指標 2	認定指導員の数	人	138	142	140	140
事業費 (A)		千円	1,930	1,940	2,007	1,992
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	2,706	2,707	2,777	2,764

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金 1,992千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	あけぼのパークゴルフ場
手段（事務事業の内容、やり方）	指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	10,397	10,397	10,398	10,881
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	30,081	29,185	32,000	31,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	10,397	10,397	10,398	10,881
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	11,173	11,164	11,168	11,653

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 10,881千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別市体育協会補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市体育協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会に対し定額を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・競技力の向上 ・競技スポーツをする人の増加 ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	25	25	24
対象指標 2	加盟人数	人	6,949	7,148	6,500	6,500
活動指標 1	補助金額	千円	1,516	1,990	1,705	1,515
活動指標 2						
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	431	449	440	440
事業費 (A)		千円	1,516	1,990	1,705	1,515
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	2,292	2,757	2,475	2,287

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市体育協会に対し補助金を支出	補助金 1,515千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：全国大会等開催補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	全国大会件数	件	1	3	0	2
活動指標 2	補助金額	千円	150	1,300	0	250
成果指標 1	参加者数	人	970	2,307	0	450
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	150	1,300	0	250
正職員人件費 (B)		千円	388	1,152	0	772
総事業費 (A+B)		千円	538	2,452	0	1,022

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内で開催されるジャパクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会、全日本社会人男子新体操選手権大会に対し、補助金を支出。	補助金 250千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	市内で開催される全国大会に対し補助金を支出する。 （平成29年度は対象の大会無し）		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
森林キャンプ場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	5,945	5,945	5,946	7,636
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	11,006	11,576	10,000	11,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,945	5,945	5,946	7,636
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	6,721	6,712	6,716	8,408

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
30年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	7,636千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	221	340	312	314
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,382	2,562	2,000	2,000
活動指標 2						
成果指標 1	全道大会出場者数	人	124	139	182	165
成果指標 2	全国大会出場者数	人	95	193	131	162
事業費 (A)		千円	1,382	2,862	2,000	2,000
正職員人件費 (B)		千円	776	1,534	770	1,544
総事業費 (A+B)		千円	2,158	4,396	2,770	3,544

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	予選を経て、全道大会以上に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000円～30,000円/人（大会内容、開催地によって変動）	奨励金 2,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スポーツ競技団体登録児童生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下） ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下） ・教育委員会表彰：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,069	1,051	1,071	1,075
対象指標2						
活動指標1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	受賞者数	人	66	74	64	72
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,312	1,372	1,200	1,500
正職員人件費(B)		千円	1,553	2,301	1,541	1,931
総事業費(A+B)		千円	2,865	3,673	2,741	3,431

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯・記念バッジ作成 1,315千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：社会人体育団体学校開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	クラブ登録数	団体	138	140	135	130
対象指標2	クラブ登録人数	人	2,616	2,472	3,000	2,800
活動指標1	開放校数	校	24	25	25	25
活動指標2						
成果指標1	学校開放利用人数	人	145,746	152,096	160,000	160,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	429	235	427	327
正職員人件費(B)		千円	1,941	2,685	2,696	2,703
総事業費(A+B)		千円	2,370	2,920	3,123	3,030

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 218千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
学校、自治会等	
手段（事務事業の内容、やり方）	
地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。 メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	学校、自治会等の数	団体	189	188	190	190
対象指標 2						
活動指標 1	スポーツ推進委員数	人	29	29	30	30
活動指標 2						
成果指標 1	出前指導派遣者数	人	10	10	26	24
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	191	153	324	312
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	579	537	709	698

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 169千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	大会数	大会	2	2	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	市民の参加者数	人	196	177	70	70
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	127	0	101	0
正職員人件費 (B)		千円	776	0	770	0
総事業費 (A+B)		千円	903	0	871	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	パークゴルフ大会を3市持ち回りで開催している。平成30年度は江別市での開催は無し（札幌市厚別区開催）。	なし

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
一般財団法人江別市スポーツ振興財団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。 ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	44,631	44,751	44,783	45,114
活動指標 2						
成果指標 1	参加者数	人	8,107	8,056	7,500	8,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	44,631	44,751	44,783	45,114
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	45,407	45,518	45,553	45,886

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し補助金を支出	補助金 45,114千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：屋内体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	175,925	178,580	176,996	182,219
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	492,531	503,551	480,000	490,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	175,925	178,580	176,996	182,219
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,089
総事業費 (A+B)		千円	178,254	180,881	180,077	185,308

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	施設の管理運営を指定管理者へ委託する。	指定管理料 182,219千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スポーツ合宿誘致推進事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
広くスポーツ団体等に江別市の魅力をPRするとともに、合宿時の送迎サービスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助、江別特産品の提供など、道外からの合宿利用団体への支援により合宿誘致を推進する。 「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、合宿団体に対し、合宿の内容、実績に応じて補助等の支援をする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、トップアスリートなどとの交流により、ハイレベルなスポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。また、江別市のイメージアップによる誘客と人的交流を促進するなど、シティプロモートに資する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	協議会開催数	回	1	0	2	0
活動指標 2	道外へのPR活動回数	回	1	2	2	2
成果指標 1	合宿を行った団体数（道外）	団体	2	7	6	15
成果指標 2	市民との交流事業数	回	0	7	6	15
事業費 (A)		千円	144	1,335	3,050	3,010
正職員人件費 (B)		千円	2,329	4,602	6,162	6,178
総事業費 (A+B)		千円	2,473	5,937	9,212	9,188

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	各種スポーツ団体への江別市のPRを行い合宿誘致を進め、道外からの合宿団体に対する送迎サービス、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助などの支援を行う。また、合宿団体との調整により市民との交流事業を実施する。	送迎バス借上料 1,800千円 道立野幌総合運動公園等施設使用料補助 550千円 特産品提供経費 476千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	PR支援回数	回	0	0	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	クラブ数	団体	0	0	3	3
成果指標 2	クラブ会員数	人	0	0	650	650
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	385	386
総事業費 (A+B)		千円	0	0	385	386

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：パラ・スポ体験会開催支援事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の 基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民がパラリンピック競技や障がい者スポーツを実体験できるイベントである「パラ・スポ体験会」の支援を行う。 ・江別市教育振興補助金交付規則に基づき、実行委員会に対し、補助金を交付する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催を契機として、市民のパラリンピック競技や障がい者スポーツへの理解を深め、すべての人がスポーツに親しみ、楽しむための意識醸成を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	イベント参加者数	人	0	0	400	500
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	150	150
成果指標 1	体育館の障がい者利用者数	人	0	0	200	200
成果指標 2	体育館の障がい者利用延べ回数	回	0	0	6,500	7,000
事業費 (A)		千円	0	0	150	150
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,691	1,694

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	イベント実行委員会へ補助金を交付する。	補助金 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
国内研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
友好都市土佐市との相互交流を行う。 ○訪問：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等 ＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○事業集録作成 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業を円滑に行う団体に対し、補助金を支出する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	13	13	16	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問数	人	16	15	16	16
活動指標 1	補助金額	千円	1,135	1,187	1,232	1,232
活動指標 2						
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	4,301	2,468	3,500	3,500
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	848	819	880	800
事業費 (A)		千円	1,423	1,428	1,657	1,657
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	4,917	4,880	5,123	5,132

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	○訪問 ＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市について学習、交流会プログラム企画等 ＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○受入 ＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学 ○事業集録の作成 ・活動団体の事業に対し補助金を支出	引率教諭・同行職員旅費 425千円 交流研修訪問団への補助金 1,232千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上	維持	低下

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
海外研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。 ○派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等 ＜実地研修＞12月上旬／ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 ○受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬／ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 ○事業報告書作成 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業を円滑に行う団体に対し、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	8	8	9	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問数	人	7	8	7	7
活動指標 1	補助金額	千円	1,334	1,385	1,448	1,508
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	9	9	9	9
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,113	1,333	1,106	1,123
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,048	2,081	2,668	2,345
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	3,475
総事業費 (A+B)		千円	5,542	5,533	6,134	5,820

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 派遣：（事前研修）グレシャム市・江別市の概要把握、語学研修 （実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 事業報告書の作成 活動団体の事業に対し補助金を支出 	引率教諭旅費 417千円 国際交流員旅費 402千円 交流訪問団への補助金 1,508千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	平成29年度は姉妹都市提携40周年にあたり、周年事業業務に対応すべく引率者を1名増員したが、平成30年度は例年とおりの対応とする。	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止 廃止 その他				